

鍼灸治療室

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

○玉木 みずね(副院長、働き方改革推進本部長、総合診療科主任部長、鍼灸治療室長)

○山見 宝

<研修生>

○阿部 里枝子、植嶋 萌恵、平林 里織、稲垣 和俊、佐々木 美耶

<事務補助員>

○岩崎 小百合、池内 麗奈

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
厚生労働省はり師	山見宝、阿部里枝子、植嶋萌恵、平林里織、稲垣和俊、佐々木美耶
厚生労働省きゅう師	山見宝、阿部里枝子、植嶋萌恵、平林里織、稲垣和俊、佐々木美耶
(公社)全日本鍼灸学会認定鍼灸師	山見宝
(公社)全日本鍼灸学会指導鍼灸師	山見宝

3. 運営方針

鍼灸治療室では、(1)全人的病人理解の具現化(時系列分析ケアシステム)、(2)セルフケア・ファミリーケア(セルフメディケーション)の実行、(3)チーム医療、(4)東洋医学と西洋医学の融合等の特徴があります。また、診療・臨床研究・教育研修を3本柱として活動を行っています。

診療の対象となる患者さんの多くは、「長年にわたる健康上の苦痛や不安を持ち、身近な医療でなかなか解消されない方」という特徴があります。そのような方に、時系列分析を中心としたチーム医療により医療ケアを提供しています。診療に際しては、医療連携をしっかりと行うためにかかりつけ医を持つことをお願いしています。かかりつけ医を通じて、漢方内科を受診し、西洋医学的評価と東洋医学的治療の適応を判断します。適応のある方には、その後、治療相談カードをご記入いただき、時系列分析を行うとともに、東洋医学的に弁証して治療計画を立案します。治療方法は、灸術を中心にを行っています。1クール(6回の診療)ごとに評価を行い、治療計画が達成できるように取り組んでいます。また、公的医療機関に併設されており、へき地および特殊部門としての医療の提供を行っています。

研究については、診療技術の向上ならびに治療文化の維持推進のために、臨床研究を中心に活動しています。二千年以上前の古典文献や江戸時代の治療文化遺産を現代に役立てる方法論を確立しています。

教育については、①公的機関および専門機関としての情報提供、②東洋医学と西洋医学の双方の利点を活かした情報提供等、漢方内科・鍼灸治療室・中央病院の特性を活かした医療環境を県民の方々に提供し、県民の医療・福祉・健康に寄与できるよう定期的に公開講座を開催しています。また、鍼灸学校卒業後(国家資格所有者)の研修として、2年間の研修を行っている施設でもあります。なお、(公社)全日本鍼灸学会より指定研修施設として認定を受けています。

4. 実績

■ 患者数

	新患	再診		
		1術	2術	施灸指導
1月	4	15	118	10
2月	3	8	103	24
3月	11	9	130	29
4月	2	13	100	27
5月	4	11	93	26
6月	7	10	100	23
7月	4	9	102	25
8月	3	8	97	18
9月	3	11	90	22
10月	3	12	100	24
11月	4	9	88	19
12月	4	5	90	25
小計	52	120	1,211	272
合計	1,655			

<病院内活動>

- ・ Hello baby class(毎月1回)「東洋医学と母乳育児について」
- ・ 施設見学、視察への対応

5. 2026年度目標

- (1) 医療安全に努め、より安全で質の高い医療を実践します。
- (2) 他の機関では対応しにくい、複合的慢性健康障害に対応できるよう、診療能力・治療技術の向上を図ります。
- (3) 鍼灸師の卒前・卒後研修を積極的に受け入れます。
- (4) チーム医療に貢献できる能力の向上を図ります。
- (5) BFH 関連事業への連携を進めます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 大塚素子、鶴田寛二. 東洋医学と感染症. 第48回市民公開講座. 松山 (2025.1.20)
2. 植嶋萌恵、平林里織、阿部里枝子、山見宝、山岡傳一郎. なぜ鍼灸治療を受け続けるのか. 第74回(公社)全日本鍼灸学会学術大会. 名古屋 (2025.5.30-6.1)
3. 平林里織、植嶋萌恵、阿部里枝子、山見宝、山岡傳一郎. 腰痛患者の自宅施灸手段の違いによる主観的改善度の比較. 第74回(公社)全日本鍼灸学会学術大会. 名古屋 (2025.5.30-6.1)
4. 阿部里枝子、植嶋萌恵、平林里織、山見宝、山岡傳一郎. 不整脈・胸苦・心肥大が灸と漢方で改善した一症例. 第74回(公社)全日本鍼灸学会学術大会. 名古屋 (2025.5.30-6.1)
5. 山見宝、植嶋萌恵、平林里織、阿部里枝子、山岡傳一郎. 初学者が復元明堂経主灸条文を臨床に生かすための方法. 第74回(公社)全日本鍼灸学会学術大会. 名古屋 (2025.5.30-6.1)
6. 佐々木美耶、山岡傳一郎. 東洋医学と老い力. 第49回市民公開講座. 松山 (2025.6.23)
7. 山見宝、平林里織、阿部里枝子. 今日からできるお灸講座～ツボの取り方・お灸のすえ方～. 第50回市民公開講座. 松山 (2025.8.28)

8. 阿部里枝子、山見宝. 不整脈・胸痛・心肥大が灸と漢方で改善した一症例. 日本東洋医学会中四国支部愛媛県部会. 松山 (2025.11.22)
9. 稲垣和俊、山岡傳一郎. 東洋医学と冷え. 第 51 回市民公開講座. 松山 (2025.12.15)

(2) 論文・著書

1. 中川素子(旧:大塚)、大川祐世(森ノ宮医療大学)、山見宝、角藤裕(伊方町国民健康保険瀬戸診療所)、山下仁(森ノ宮医療大学)、山岡傳一郎. 刺絡療法を含む鍼灸治療の安全性の評価:インシデントレポートを用いた前向き観察研究. 日本統合医療学会誌 第 18 巻(第 2 号). 73-80 (2025.11)